


成田より30余時間、標高3,600mを越すボリビアの屋根の上  
に下ろされたのが7/10。ようやくラパスの生活に慣れ、赤血球も増え  
呼吸が普通にできるようになったと安心していたのもつかの間、今度は  
ジャングルの10円はげと言われる年中常夏の秘境、リベラルタへとプロペラ機  
(18人乗り、機内高約120cm)は飛び立ちました。窓の外は朝日。

というわけで、私藤原一絵(愛称イチエ)は今ブラジル国境すぐ近く、  
アマゾン支流のベニ川の流域にある小さな町、リベラルタに来ています。  
ここはボリビアの北の果て、ボリビア人でさえも「え、Riberaltoに行くの？」  
と絶句してしまう所。ラパスからトリニダ<sup>2</sup>乗り換え約2時間。窓の外に  
見える景色はアンデス山脈からアマゾンの密林へとまるで別の国の様に  
変わっていきます。町の中に堂々と構える空港は未補装で、雨季には殆ど  
離着陸不可能となり、リベラルタは陸の孤島となってしまいます。しかし今は  
乾季(5~10月=3)、平気だぞんとたかをくくっていたら前日に雨が降ったとかで  
しばらくトリニダ空港にて足止め。おまけに合計100kgをこす私と養護の  
伊井隊員の荷物は「機が落ちるから乗せられない」との理由で一たん別の  
便で更に北のGuayara Merin(川のむこうはBrazilという町)に送られ  
そこから陸路でリベラルタに送ること。2年分の仕事の材料がらまって  
いるスーツケースを手離すのは限りなく心細かったのですが、プロペラ機が  
降ちるのはもっこまる!!...というわけで泣く泣くお別れ。結局3分  
おくれ程で出発できることになり、機内で長袖→半袖へと変身し、  
真冬のラパスから常夏のリベラルタへと下りたのでした。空港には先輩  
隊員が迎えに来てくれ、ジーンズ、ポロシャツという格好でそれぞれを受け入れ  
機関(私は教育局)に挨拶を済ませました。(制服はGuayara Merinに  
行ってしまった)そして5時間後、石臼<sup>2</sup>かぶった変わり果てた姿の私の  
荷物たちと無事再会を果たしたのでした...。よかった...

みなさんこんにちは。お元気ですか？ 私は元気で。日本と13H.の  
時差のあるニボリビアはリベラルタでのあなたのことみなこともお知らせしよ  
とペンをとりましたが、いつまで続くかわかりません。期待せずお待ち下さい。  
思いつきの執筆ですが、ご意見、苦情(みなさんのいらぬ!という方はリベラルタまで。  
)

**町のイサ** みんなのイサ  
さんさんおどされたわりに町には何でも  
あります。ホテル、映画館、郵便局、病院  
etc。(設備はともあれ)町はスペインの  
町並を真似た PLAZAを中心とするごはんの目作りで、X1通りはタイル  
(石)ばり、それ以外は土、という道。そこをモトタクシーといわれるバイク  
のタクシー(約30円)が縦横おんきに走ってます。町に2カ所ある信号キ  
は動いておらず、12才の子供がバイクにのってたりするので道を横断する  
時は要注意! 車はみんなの殆どなく、今年初めにタクシー第1号が  
誕生したらいいですが、まだお見かけしてません。バスも4台あるそうです。  
私はもっぱら歩くことが多いのですが一日歩くと石臼みれ。そして道端の  
そこかしこに暑さでのびた犬たちがぐったり横たわっており、何度も「死んで  
んのちやうか!？」とドキドキさせられます。時折思ったようにスコールが  
降ると、道といわず庭といわず皆川<sup>かわ</sup>になってしまいますがその後は  
空気が穏やかで気持ちがいいです。(雨季はすこいよーと周囲の人  
さんさんおどされてますがもうその手にはのらん、<sup>ボジョ</sup>を買って!)


そして気候にまけずおとらず暖かいのがこの人々リベラルターニヤたち。  
一度会ったらもうdmigo(友だち)。町を歩いていると知らず知らず挨拶し  
たりウインクしたりします。人口6万人のうち3代までの日系人が14%もおり  
日系社会の丁度古さで知られるのもニリベラルタ。ラパスにもなる程  
いろんな人種がいました。高地の顔立ちとエチオピア<sup>2</sup>違った顔が一杯。  
ちやうと歩けば知り合いにぶつかるこの町では悪いことはできません。  
どこのだれがどうしたとかあそこのだれそれはだれの恋人だとか町中が  
親せきなのでは??と思わせる程のうわさ好き。でもそれだけ人と人の  
つながりというものが打<sup>2</sup>打<sup>2</sup>深<sup>2</sup>く残っているのです。  


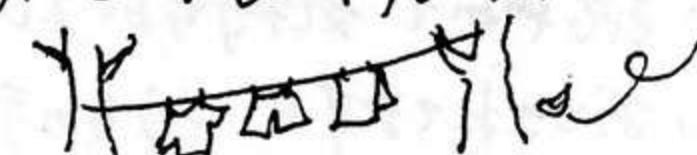
ママは巻き舌!!  
うしろのを見たことない!!  
かろう

# 生活

わたしの生活  
私のホームステイする Gamara 家の女主人は Señora Velia。それは 23才のお手伝い兼同居人 Mireya と 木の mika と 木の chiquitita が私の家族のすべてです。  
\* こちらのペオの名付け方はいかにいかにある。

家の裏では下宿をやっていて Señora のいと夫婦や 技師、医者、先生等 8人の人が住んでいて けっとうにぎやか。夜ともなると Señora の友達が沢山やってきて夜中まで カラオケで遊んだり 再にもにぎやか。では私のお気に入りのものを

その1. mika  
私が来た時には ノラネコだったこのネコ。いつも 頭つきを してきます。(甘えている) 9/8に4匹の子ネコを出産しました。すぐには一匹ずつ口にくわえて 大きくなるほの中にひっこして、  
近づく人間を感かして 子猫たちを 守っています。すんごいかわいいよ。  


その2. 昼  
こちらは 昼休みが 12:00 ~ 2:00 (又は 3:00) となっていて この間家で 昼ごはんを食べたり、洗濯したり したりします。とにかく 半日で汗ひっしょりなので この間に洗濯の鬼と化し(石の洗濯板で手洗いです) 再び汗をかいたところで 水シャワーをし、午後へのエネルギー補給をする。とにかく 時間の流れが ゆったりしてるのが この良い所。自分のペースで 自分の呼吸で 皆生きています。  


その3. ベニ川べり  
教育局の前が すぐ ベニ川のほとりになっていて、いつも 近くの人々が ベニ川に座って 川を眺めたり 話してたりしています。この眺めが 私の疲れをいやしてくれる。特に 夕日は 絶景です。  
リベラルタには いくつか釣リスポットがあって、(トニクワクワ湖、ワラド湖 etc) ベニ川も その一つ。こちらの釣りは さおを使わず 糸と針だけで 肉を使って 小魚をつり、その小魚で 再び大きい魚を釣る、というやり方。いつか 干物にしたい。

その4. ギター  
せっかくだからと、ギターを習っています。ここボリビアは 高地の 民族楽器を初め、木製の 吹奏楽器、弦楽器、打楽器が 手作りして売られています。私も ラパスにて ギターを購入、pipicho という おじいちゃんに 週5日、ギターを習い、右手のつめを伸ばし、練習中。どう時期待?

その5. Qué será  
こちらの人には よく Qué será ということを言います。私が 納得いかないことが あつたりして 「どうしてなの!？」と 怒つたりすると 必ず 「Qué será」(よく分からないが「さあ どうしてか ねえ わかんないよ」という 意味?) と言う。こちらも 思わず まあ いいか という気になつてしまう。

## 仕事

仕事の話も少し。こちらの学校は とにかく スト が 多い。1週間ほざら。1ヶ月 学校が 休み。休んで こともあります。(授業日数は 日本の 1/2 と 言われる) 私が ついたのは 3学期の 始め。ついで 早稲で 学校は なし。先日 ようやく 始まりましたが 音楽の先生は いない 生徒は 少ない... と ボリビア人。

学校には 国からの 援助も 少なく 備品、設備不足 というのが 現状です。特に 私の やらうとする 音、図、体では 学校持ちの 備品は 皆無で、一時間一時間 先生方にとっては それが大 悩みの 夕ネでも あります。

一体育教師の姿  
そんな中、とある学校の 今年退職される 体育の先生は タイヤの 廃品、木材、マケットでもらった 縄、草等を利用して 手作り の ハードルや マット、平均台等を使って 子どもたちに 楽しく 授業を されておりました。物が ない所から工夫をこらしておられる 姿に 敬意を 払います。物が 豊富にある ことは、生活を 豊かに するけれど、不便な所では それだけ 工夫も 生まれる のです。

## ある日のできごと...

教育局でいろいろおめしていた時、教育長は 連日 TVにうつっていました。ある日、昼ごはんを食べながら TVを見ると 和の映った。こちらの TV は ぶっちゃけ ローカル。8mm サイズから

教育局にて トイレに行きたくなり どのときと 裏庭を指し、「気が付くと どの仕事。「どうして?」と首をかしげ行くと そこには 扉のない ぼったく小屋に 箱!



なるほどと すずすず帰ってくる私に 周囲は大爆笑でした。 トイレがあるだけ ましとは言っても せめて 扉をつけてくれないと できません。 \*ボリビアのトイレは 低いため 扉は 流せません。(ちなみに 教育局は ボイラ式ですが)

コーラを買い、10巾(約2冊)のおつりを買っていると、さかしておなかつたので、10巾のものを 1つくれました。物の交換の世界もあります。

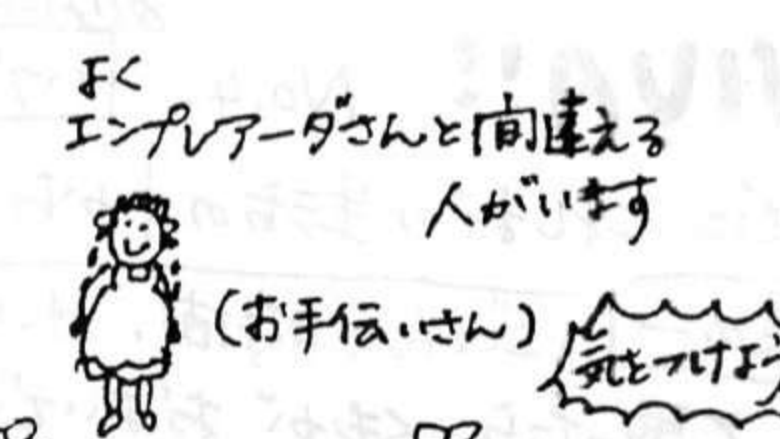
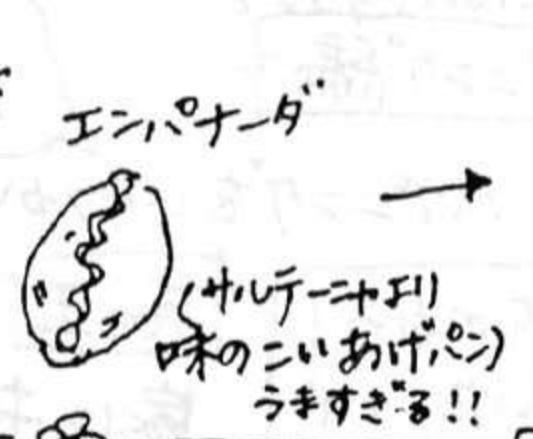
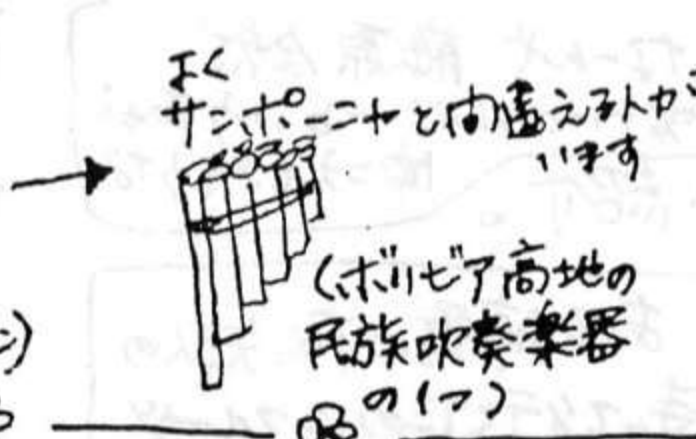
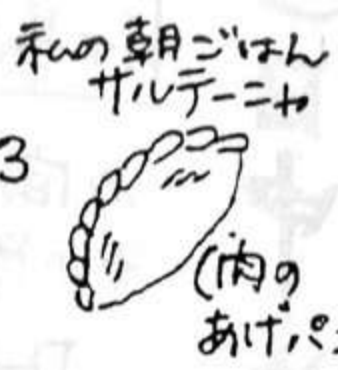
町角にアップルジュースよりも濃い液体入りの ビンを並べている店があり、何?ときくと そこは ガソリンスタンドでした。ガソリン

ついにやったぞ!! 100% 果汁のジュースを のみました。(けっとう いけるよ。こちらの ニンジン は 甘い。)

# VIVA!!

1997. 11. **Riberalta** No.3

カルクチャーショック編



日本の皆様 お久しぶりです。リベラルタについて 早や 2か月余り、あれよあれよという間に 雨季突入か!! という勢いで 毎日ちびとずうですが スクールのお雨、時にはものすごい雷雨が襲ってきています。この間は うちのガラスが1枚割れていました。そろそろ冬仕度ならぬ 雨季仕度かな... という感じです。今年はエル・ニーニョもありますね。

今回はリベラルタの人々の生活や文化の違いを この2か月間に私が感じた、見た、聞いたなりに 少し掘り下げてみようと思います。

## La Gente ~ひと~



私が今つき合っているのは 主に 家の人、近所に住む人、学校の先生、子どもたち、それに 先輩隊員さんの知り合いや 市場のおばちゃん等。リベラルタの人とは... という問いかけに対する適切な答えはまだまだ 得られません。現段階での印象は 吉野家風に言わせてあげ

「口が **うまい**、気分転換が **早い**、気が **ゆるい**」という感じでしうか。 エルメルカド 次に続く。全然掘り下げてない。

## El Mercado ~市場~

何と云っても物価が高い。ボリビアは南米近隣諸国に比べ物価の安い国ですが、リベラルタは主な物資を陸空路で運送くる為に 何でもかんでも ラパスの1.2~1.5倍はします。品揃えは豊富... とまではいかなくても 生活する上での必需品は殆ど揃います。ただし、それを 自由に買い 不自由なく暮らせる人がどれだけいるか、というところは分かりません。(リベラルタ特産のものは手作りが多い。温かい) そんな中でも 振る舞い出で高いのが ガソリンと、ガソリンで発電している電気代。おまけに 町には 発電用のモーターが2つしかないので 毎日地域別に 4~5時間の停電があり、扇風機も止まってしまいます。

先日 11時間、という事がありました。ガソリン代の高い時には タクシーの運賃も値上げする。 ランプとろうそくは必需品!

## La Comida ~たべもの~

ここでは お祝いする!! と云えば ぶたの丸焼きか 牛の頭! といった感じです。ぶたが一番高級なんです。カメは好き嫌いがあるようです。野菜や魚は 私の家では よく出ますが 一般的に 日本程 食さないようです。米もよく食べます。リベラルタ米、サタクルス米... と 国内産のものから ブラジル米、アルゼンチン米 まで 様々。油で炒めて 塩を入れてたきます。果物は そらにも実っていて、とっても美味しい。

- マニョ 15種類以上ある
- マホ、パポネサ(日本のマニョ) 味が一番おいしい
- パポネサ 一般的な果物はパポネサという
- アボカド 2種類以上ある
- ギネオ 台湾バナナと似たようなバナナ

## La Bebida ~のみもの~

私の友人なら ご存知の筈、コココーラ嫌いだっただけ、実は今では 主飲(というのかどうか知りませんが)が コカコーラになっています。理由は 街にあふれる シフレスコ(のみもの)には 生水が使用されている為、一番安全なものが コカコーラ(ファンタ、スプライトもある)なのです。でなく、このうだる暑さの中 コカコーラが おいしく感じてしまう 今日この頃。いや、いや、人生何が起るか... と言っても 痛い目を見るまで 分からない 私は しょつ中街角でシフレスコを飲んでいたりする。\*絶対 まねをしないように!! 私もやめます。

- コポアス(パイナップル)
- チチャ(小麦)
- シリエラ(梅) etc. 山盛り
- その他 picolé (ピコレ) という自家製 チューチューもっています。

## ねこ、その後...

前号でお知らせした 子ねこちゃんたち4匹、「私の子ども」として 皆に親しまれていました。家の前との相談の結果、家の前に「ねこあけます」の札を出し、皆それぞれ、ねこ好きの人たちにもらわれていきました。元気で...

ではこれまでの生活の中からハプニングをいくつか紹介。

なんや 藤原全然  
変わらんとおーという声か  
聞えてきそうや

其の一 ニハンの時節。水をのもう！  
と思つたら、くもがおふいていた。いや  
おぼれていたと言った方が正しいかも。  
この他にも  
アリがおふいた  
ハエが埋れていた  
編があります。

其の二 1/4~8に ラパスに 隊員会キ  
に行った時のこと。行き先の飛行機  
は9:00に出るので 8:00に 空港に  
来てくれ。とのこと。結局飛行機が  
発したのは 13:00であった。しかも誰  
文句を言わない。理由は依然不明。  
帰りの飛行機では 同期隊員の  
席がない！と急に言われ。二人してさんざん  
まくしたてた挙句、発つ1分前に乗機。  
おかげで荷物は置きざりになって  
しまいました。それでも何とかなるのがホリピア。  
トリダ空港の荷物干エックでは 機内  
持ち込みしていたバックを 開けられた。  
そこには 10月に初めて ラパスに オープン  
した マクドのハンバーガーが 山盛り...。  
お堆おたんだ。すっごく あやしまれてしまった。

其の三 3 de Febrero という学校の先生と  
その家族と トリダキョクワ 3月に 遊びに  
行った時のこと。大人18人 子供16人 一行  
に。15人乗りのライトバン一台。きついわ 暑いわ  
パンクするわ... 地獄の2時間でした。

其の四 ある子どもが 虫にさされて泣いていた  
時のこと。お母さんは 気やめめに 下のドロを  
傷にぬりみ 「ほらもう大丈夫」。それでも 化粧  
しないのが ニコニコピア...。これはすごい。  
お母は 2年ほど前に...

其の五 ある停電の夜。知人の  
家に。持って行くためにフルーツ  
の缶ヅメを 冷そうど入れておいた  
のだが。出してみるとそれは  
よく冷えたペンキの缶であった。

其の六 ある停電の夜があけた  
次の日の朝 よく見ると。Tシャツ  
が 前後逆だった。ちなみには  
大きな刺しゅうを 背中に 祭りに  
行っていた私... 誰か言ってくれ

其の七 ある夜。遅くに帰ると  
私の持っていたのは 家のわきて  
はなく。スーツケースのわきだった。  
ごめん。おこして。

其の八 ギターの先生が 司会する。  
リベラルタの ローカル番組に 出演！  
(NHKのど自慢みたいなやつ)  
リコーダー1曲と ギターの弾き語り  
2曲。思い切り キンキョーして。  
生放送にも 関らず 「もーもう一回...」  
次の日から タクシの 運ちゃんや  
「街中の人に 「昨日出てたねー」  
と言われること と言われること。  
来年は 芸能隊員この噂も...

其の九 いす文化に 慣れない私。  
一日の形事で 座り疲れた夜。小さ  
なライヴハウスで フォルワール (民俗  
舞踊) を見ながら 「おいが痛!!」  
と立っていると レイファーストの 国。  
近くのおじさんが 親切に 「どうぞ」と  
いすを さし出してくれた。気の弱い  
私は 「どうも」と 座ってしまつた。

一日中 生まれた土に向けて 足ボリボリ 歩いて キンカンめろて

仕事編 エルニニヨの影響で 学校も 早く 終わってしまい。既に  
年末休暇。新年度は 2/3 期 始まります。この2カ月  
の間に 市内 267 の 小学校を まわりますが 来年度からは いくつ  
かの学校に 腰を 落ち着けて。子どもと たわむれる 予定です。

Festival ~ おわり ~  
各小学校では 年度末に。親への サービスと 成績評価 それ  
資金集めをかねて 大々的に フェスティバルをします。この中では  
体育と音楽の時間に 練習した 組み体操や ダンス等を  
発表。夜の 8:00 ころから 遅いところでは 12:00 まで 賑やかな  
夜が 続きました。子どもは さすが 南米! の リズム感と 見とれる  
ような ステップで 踊ります。でも。若い人の フォルワール 離れや。  
カラオケ等の 新文化による ダンス衰退があるのも 事実。だからそ  
学校で 文化の 伝承を 行っているんですね。

1/8.9.には 音楽研究会の先生たちで 円形劇場を 借り切って  
小中高の大フォルワール大会を しました。超満員の大盛況!!  
日本の 踊りや 組体操。スペイン語 コーラスの 楽譜のある人は 連絡  
ください。お願いします。リコーダーの 廃品回収の アイデアも 散々ね。

Japones ~ にほんに ~  
日本に おせる 関心。殊に 日本語に おせる 関心は 大きい。  
私も 見学に行った 学校で 頼まれて。子どもと 親しむ 為にと  
日本文化 及び 日本語の クラスを いくつか 行った。特に 喜ばれる  
のは 挨拶と 漢字。それは 各々の 名を カタカナで 書いてやると あつ  
い間に 人ばかりが できる。覚えて 街中で コーワ! と 言ってくれる  
子もいる。やはり 子どもの 好奇心は 世界共通です。

Sangre ~ ち(血) ~  
いろいろな 血が 混ざっています。ここでは 混血のことを Cruz  
と言います。日系人は もちろん。ブラジルから来た人 アルゼンチン。  
ペルーから来た人。スペインとの 混血。おじいさんが イタリア人 だった  
人 etc etc...。家族と 離れ離れの人。お父さんの 顔が 知らない  
子も 沢山います。だから おい 家族を 大切に するの が 大切 だよ。  
ある 5年生の子は 純粋な 日本血を 持っています (7割 混血は  
ない) が。やはり ボリビア人 なんです。中身が。運命の 不思議を感じて

植山先生 二重投稿の... 植山先生

一絵作  
ではまたおそろいで... 植山先生

# VIVA!! Riberalta No.5

4次元中継編



さて日本の皆様 お元気ですか？ 私は tifoidea (腸チフス) なんてものを体験してしまいました。3種程のサルモネラ菌がプラス4 という値だったにも関わらず、さして熱も出さず。あつとや一泊にバイキツ(アホバ)くも退散してしまつたとゆう、強じんな体に産んで下さった日本の父と母に感謝します。心配して下さった方々、ありがとうございます。



長らくお便り下さいない内に、私もいろんな所へ行って見ました。今日はリベラルタ以外の町で私が見たものを紹介します。もちろん、ポリビアにはこの他にもいろんな都市があります。1/10~2/5にはサタクルス、スクレ、ポトシへも訪れる予定。(学校がお休みなのでできるワザ) これらについてはまた後日お知らせします。

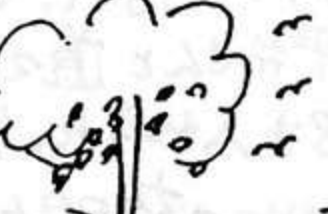
## Riberalta

町のまん中は京都のようには幅20m、一区100mの整然としたごぼんの目。これがmoto(バイク)で10分も走るとどっちを向いているかわからなくなる曲がりくねった道になり、突然全く予想だにしない所にポン!と出てびっくりします。でもこんな所にリベラルタの別の顔がひそんでいます。川にぶつかると、向こう岸に渡る舟が車ごと運んでくれるのでちゃんと足をのばせば Las Piedras (石、という意味: 自然の大きな石が見えます) や Guayara Merin や Cachuera Esperanza (かつてゴウ玉で栄えた町) 等の名所を言われることができます。足をのばすまでしなくとも首ぐらいのぼせば、リベラルタを支える産業の元となる豊かな自然、や、人々の働く姿が目に見えます。

まずは やっぱり 何と云っても **Riberalta** なる曲がりくねった道になり、突然全く予想だにしない所にポン!と出てびっくりします。でもこんな所にリベラルタの別の顔がひそんでいます。川にぶつかると、向こう岸に渡る舟が車ごと運んでくれるのでちゃんと足をのばせば Las Piedras (石、という意味: 自然の大きな石が見えます) や Guayara Merin や Cachuera Esperanza (かつてゴウ玉で栄えた町) 等の名所を言われることができます。足をのばすまでしなくとも首ぐらいのぼせば、リベラルタを支える産業の元となる豊かな自然、や、人々の働く姿が目に見えます。



自然の泥を加工したレンガ。リベラルタの家は、みんなこれ。瓦が、いっばいあいている。



でも bajio という森にあり、ここは雨季には水に浸ってしまうので、乾季しか使わけません。

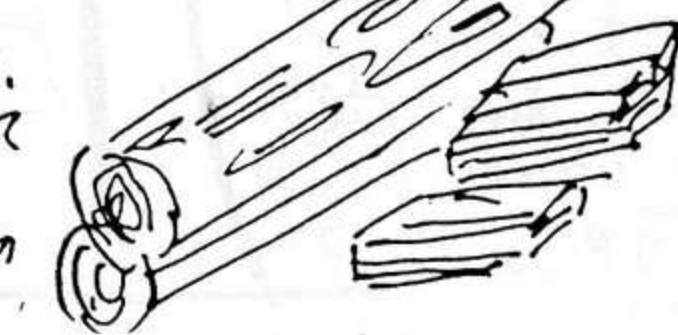


一番のっぼな木、といふは "アーモンドの木"。空港でチョコでくるんだアーモンドを売ってます。



パルミットというのは、ヤシの木の子で、ヤシの子のヤシ大へんおいしい!

木材工場は、日本へも輸出をしているそうです。リベラルタの手作りの家具は絶品!



## Trinidad

同じベニ州の州都。リベラルタから飛行機で約1時間。州都というだけあって、雰囲気こそリベラルタに似ているものの、建物のたてずまいや、道路など、より大きな町。町角には Policia (おまわりさん) の手動による信号が機能しています。中心のプラザの一角には人気のアイスクリームを売る KIVON というカフェテリアがあります。プラザのど真ん中の噴水にはカメとワニ、木には 暹羅がよいとナマケモノが見れるらしい。私が行った時には謎の Chileno (チリ人) 2人が河原町のようには アクセサリーを売っていて、同期の夏目隊員と共に お米に名前を書いてもらいました。トリニダといふは舟を使ったアマゾンツアー!! が有名ですが、生憎私もリベ隊の伊井隊員も病み上がりで無理はできない! ということで市内の Zoologico (動物園) ツアーへと予定変更。やっぱり見ても10分足り。という Zoologico には ベニならではのバクオサ、ワニなどがおりの内・外にたむろして、記念撮影のお相手をしてくれる。また、ライオンのおりに木切れ1つのカギ、という大らかさも魅力です。ドキドキもういつのおススメは Laguna Suarez (スアレス湖) という湖。多少観光ナイズドされているものの、無造作に作られた長い島、ヨボヨボの古い船、遠浅の水底、トロピカルな花たちは、魚、フライ... と日頃の疲れをいやしてくれます。

## Guayara Merin

リベラルタの一部? ブラジル国境の町。リベラルタよりタクシーですら1時間20分、バスでゆっくり2時間半、ひたすらアマゾンの木々を眺めつつ、時折通り過ぎる牧場の牛に胸おどらせつつ、Yatai川をいかだで渡り、疲れた頃には巡りつく町。グアヤラとグアハラの間には5Bs (≒100円、帰りは8Bs) で渡してくれる Mamote川があるのみで、バスポート不要なので物価の差をねらって、グアヤラには買い物に訪れるブラジル人が多い。とにかく物が多く、安く、ブラジル通貨リアルも使えます。グアヤラで値段をきくとリアル (リアル ≒ 1\$ドル) で答えられるので要注意! ブラジル側のグアハラには40年在住の日本人のおじさんが八百屋を営んでいて、白菜や日本キュウリ等が手に入る。

## La Paz

かつて知ったる高地の町。11月の隊員会キ、12月の3か月会キとわりとひんぱんに行きました。何度行ってもおもしろい町です。今回はリベラルタの湿気で寒くなってしまった mi キターの治療に、生みの顔である Clark さんを訪ねました。彼は grupito aimara という民俗楽器バグ? の人で11月には1か月、日本公演に行きました。日本料理は? と聞くと、「も〜いっぱい食べた。めっちゃおいしい。」とのコメントでした。サポニャ キヤラゴ ケナラパスといふは、大女子物のマラケッタ。(パンの種類) 朝早く工場から運んでくるパンをねらって、いつものア・ドリュエ・プラザの店まで早起きしていきと、ナイス! なんと前夜はキリストの誕生祭だったそうで、「工場の人みんな西半ばらってねてるよ」とのこと。一大ニュースは11月にポリビア初!! のマクドナルドが open しました。連日長蛇の列で1時間待ちはさら。ものめずらしさに私も2回程並んでしまいました。ほんとに同じ味。



なんか年の瀬って感じがしないなーなんて思ってたなら  
それもその筈、ここでは年末の買い出しなんてありません。おせちも  
大掃除も、年末大売り出しののぼりも、年末統計のx切りもない。  
カトリックの国ですから、クリスマスはキリストの生誕を祝う神聖な  
もの。東洋の使い(?)が着く1/6まではツリーも飾ったままです。  
そんな中で私が年の瀬を感じたのは、下宿人たちが次々と  
自分たちの家族の元へと去っていった時。これは日本と同じですネ。

しかも暑!!

### 知ってた? クリスマスツリーの由来



下宿人のオランダ人から聞いた話。  
ヨーロッパでは聖書が読めるずっと前から  
古い慣習で、12/21の冬至を過ぎると、太陽が  
再び戻ってくることを祝って木に飾りをしたそうです。  
それと、聖書の話がミックスしているのだそう。だから  
このクリスマスツリーの下には必ず"赤ちまの  
キリストとマリア、それを祝う人々や動物たちの  
人形が"木かざり集っています。何か、おごそかな  
感じがしますよね。

では 私の12月の報告 xxx

12/16

午前中、リベラルタ中をバイクでママのクリスマスカードを配って回り、  
ふと気がつくと、もうお昼。慌てて、ケーキ作りにとりかかりました。

今日は伊井貴子(タキト)の誕生日。風船とリボンで飾られたへやに  
ピニャタ Piñata という おもちやを沢山入れた大きな風船(子どもの場合は人形らしい)が  
つられ、家族に支えられてのあったかいパーティでした。約30人が集まり夜中すぎ  
までダンスダンス! あっという間の数時間。  
(ピニャタが割られると、みんなこぞって おもちやを捨てる)



12/17

何とはるはるリベラルタまで 日本大使夫妻がいらっせいました。  
金魚のフコのように リベラルタ中をお供してまわり、リベラルタの市長さんとも  
知り合いになり、私は何とニュースのはじっこに映ってしまいました。大使たちは  
病院や、墓地にある日系人の共同墓、町角の井戸やリベラルタの自然を興味深げに  
視察して帰られました。きれいなスペイン語で話し、熱心にこの人々の話に耳を傾け、  
食欲旺盛な、素敵な お2人でした。

★ ★  
★ ★ ★  
★ ★  
(オリオン座  
もさかさま)

12/24

2週間程前から教会で小学生を集め、クリスマスミサに向けてコーラスの練習を  
しました。途中で、教会の青年達率いる大所帯グループと合体。いろいろあったものの、  
無事、24日のミサでのコーラスを終えました。最初私が指導していた12人の子たちは病院へも  
行って、重病で起きることのできない患者さんの為に、お客さん1人のコーラスを披露。彼らに  
とっても思い出深い夜となったようです。活動以外にも休み時間に日本の歌を歌ったり  
ピアノを教えたたり...と音楽は万国共通語! 沢山の友だちができました。

ちなみに...一番人気のあった歌は 雪やこんこん あられやこんこん♪ 雪の降ることのない土地で  
すが、想像力をいっぱい働かせて歌った子たち。リズムがかわいくって気に入ったようです。

ちなみに... 日本語で幸せな時、人生バラ色と言いますが、ここでも color de rosa。これも万国共通!!

そばはないで年越し

12/31 ~ 1/1

日本から遊びに  
やってきた先輩  
隊員の田中さん



からのさし入れのおせちを頂き、テイスコで  
押し合い、へし合いのダンスの後、飲み屋で  
一杯。夜の明けると頃クラブへ行って、また  
飲みました。その後、伊井さんと道で  
踊っていると、見知らぬ老夫婦に招き入れられ、ケーキ  
をいっただいて帰宅。リベラルタに来て初めての夜明けかし  
でした。

### 1998年、皆様にとって お年でありがとう に

お手紙、クリスマスカード  
くださった方、どうも  
ありがとう。私の  
元気の素、107の  
源です♡

'98  
1月



再びお世直し中 → mika

mika  
家出!  
VIVA!!! No.7  
お久しぶり編

またまたご無沙汰しちゃいました... お手紙の返事も遅くてごめんね!! 少しずつ書きます。待っててね?

お元気ですか? 日本はすっかり春の色も褪せて。夏の匂いを感じる頃ではないうち。私の方は 3/2 刊 待望の新学期が始まり。新鮮な毎日を 時には 幸せに。時には 落ち込みながら過ごしています。(やはり スペイン語学力不足で 落ち込む時が多いのですね。こればかりは 本人の努力次第...。がんばれ!!)

では 早速 近況報告。仕事編から。  
Nuestra Señora del Carmen 校 (fe y alegría という BOUTIA 全土のカトリック系施設の1つ)

うちから歩いて2分の所にある小学校。15クラスあって、校長、秘書、管理人等の他 担任15人と音楽、体育、図工、宗教の先生が 私の職場の仲間。現在は 午前中一杯 音楽の授業が 1クラス 2H. (40分x2) ずつなので 音楽の先生と1H. ずつ 互いに見せ合ってます。日本の教育の所、例えば 子ども同士のつながりを大切にするとか 個人の成長を認めるとか 興味、関心を引き出すといったことを伝えたいと思っています。教科では "ハーモニー" と "聞く" とをまず大切にしています。子どもは 私が スペイン語に訳した「カエルの歌」や「おすんでひらいて」等が大好き。これらの音楽の学習は 1、2年は ミミカ (振り付きの幼児向けの歌)、3年以上は イムノ (国歌や県歌、00を讃える歌など) が中心で、ギターと共に歌ったり。ノートに歌詞を写す活動が主。年末は ひたすらダンスの練習です。子どもは 元気すぎる位 元気で。スペイン語が しばらくの私には 時々 困ってしまいますが 憶えることを知らない精神。逞しさは 見習わねば、と 常々 思います。午後には 一休みした後、会議や 教育局への用事を済ませ、後は 家で 教材作りや スペイン語の勉強... という 毎日。ちやとす 慣れてきた... かな? という所です。音楽が好きでも 楽器や 知識、技術不足で できない、というのが 私の思う 一番の 問題点で、物質、技術移転の面と 何もなにも 意を 楽しむことは できる、ということに 気付いてもらうことが 現在の 願いです。

学校の先生にかけた電子ピアノ  
いつもビーチに行くとひやかされるお手紙とバック



El Tiempo Libre (自由な時間の過ごし方) ... と言っても 最近 は あまり 余裕が なくなってきたのですが できるだけ 人と 関わるように しています。それでも やっぱり 自分のペースを作るには 一人 じっくり 過ごす 時間も 大切。ギターの クラスが 最近 ないのが ちやびり 残念...

mirador という 川べりの公園で スケッチ。風景ばかりで あきてきたな... と思っていると 目の前に 「描いて」と 言われ ばかりに キンしている おじさんが...。内緒で スケッチし、後で見せると 大喜び。その後 目の前に 何気なく 川を見つめる 人々が 多発したのは 言うまでもない...

道端で バツリ 出会ったり すると、それまで... 一度しか 会ったことが なくても、「café のみに行こう」だの 「娘の 仕事場を見に行こう」だの Te robo 5 minutos (あなたから 5分 盗むさちやと 時間くれ) されてしまうことが 多い。隣の人も 皆 家族。の 感覚は 気持ち よいです ね。

最近 二つあるのが トラップの Robo (盗む) 夜、近所の セニョーラ たちに 教わりながら 負け続けている 私。良い かもに なっています。

この他、近所の人に 折り紙を 教えたり、最近 夜間 学校に通い始めた 同居人に 算数を 教えたり たまには 日本料理を作ったり しています。

Las visitas (訪問者)

いつもは 平穏 なリベラルタに 3月 才3週は お客さんが (日本人) 沢山 いらっしやいました。  
3/15~18 築波大の 女子学生 3人組。フォルクロレを 学んでる ため 知り合いの 家に ホームステイ。ピキピキの 若い子が 3人も 空港に ついた というのは 次の日には 町中の 噂に...  
3/16~19 Trinidad (ヒコキで 1H) の 9年度 2次隊の 新隊員、看端の 岡谷さんが 同じ リベラルタの 看端隊員、高取さんを 言われて 来ました。その日は 高取さんの ベットの マットに 4人が 並んで 寝ました。  
3/18~19 JICA 員 MC (医療調整員) 藤田さん 到着。帰国される 高取さんの 跡が 伊井さん、私の 2人 ということ で 心配の ようす。フェラスコ (炭焼肉) と カラオケに 連れて 下されました。また みんな 来て 下さり ね!!

El choque de la Cultura (カルチャーショック)

「私」を 指す 時、ついつい 顔に 指が いらして しまいますが、(日本人の 特性かも?)、ここでは 必ず 皆 胸を 押さえます。私は つい 鼻を 指して しまうのですが、これは mentiroso (うそつき) の 意味。  
前にも 書きました が、のら犬の 多い 町。しかも 大きくて 目つきが こわい!! (気は 弱いな んですが) 犬の 苦手な 私 は 以前、いつも 迂回 していた のですが、友だちが おまじないを 教えて くれました。(汗) すれ違ふ 時、バの中で つぶやの たて ぞう。サコキート、サコキート、アマラ、ハベリト、サコキート というのは 犬の 神様 なの だって。ハベリトは 犬

高取隊員 帰国!! お疲れ様

着任以後、心身共に 支えて 下さっていた 7-3 隊の 高取隊員が 無事 任期を 終えられて、4/8 帰国の 途につかれます。本当 にお世話に なりました。また 日本で 会い ませう ね!

わっ  
ぱり  
あつた  
ハ  
ッ  
パ  
ン  
キ  
集

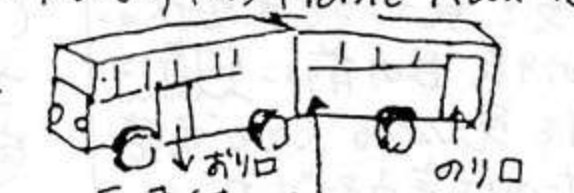
任国外研修ということでは 2/8~28の3週間、隣国 BRASILはカンパウロに  
行って来ました。研修先は Asociacion Monte Azul (青山協会??)とい  
ドイツのNGOがらみの ボランティア団体。Monte Azulという貧民街に住む人々に  
生きる力を与えようと19年前に始まったプロジェクトです。実はずっと大学の夏から  
行きたかった所。「ほんの木」出版の「耳をすまして聞いてごらん」(小貫大輔著)を  
読んで、とても共感を持ったのです。行ってみるとやはり同じ本を読んで働きに  
きている日本人がいました。年間に何人もの日本人が訪れるという話でした。

夜ごはんは各自の負担。どうしても食べたく  
なったなあとほうれん草のスムージーを  
はきって作りましたが、何がどーだったか  
ます!!! それでも心の広い同室の女の子は  
「おいしい」と言ってくれました。でも  
実は隣で食べた男の子に「ドイツ語で  
「あんたもおいしいって言いなさい」と指示  
していたとか...。本当、優しい子ですわ  
友人とカラオケに行った帰り。みすみすみ冬バスを見送ってしまい。朝までうわ。し  
かもお金もなく。情けない夜でした。ねむかった...

SP-大きいセラフエラ公園で 南半球の  
天体をプラネタリウムで見ようと行ったの  
ですが、くつをぬいで ベンチでねころんでいた  
私に あやしいイタリヤ人が...。あわてて  
逃げ出し、目を見のがしました...。わわわ!  
EMBÚという町に一人で行った帰り。バス  
が他のバスと衝突。知らない所で降り  
された私は 2回もバスを向ちがえ、倉庫の  
行事に行けませんでした。やっぱりわわわ

出発前 何と南米において Como  
BRASILのみがポル語を  
公用語としています。スラングと  
似てるとは言え、耳で聞いても  
さっぱり分からない!!  
カンパウロ在住32年のセニョーラに  
毎日1.5Hずつ教わりに行きました。

2/10 PM. バンデラ広場から  
Onibus(バス)にのり  
町のほとんどのMonte Azulへ。  
2両連結。まん中にお金を  
集める人が座って、1人100円  
キウと前へ通してくれる。



2/11~26 毎日、午前と午後4Hずつ  
女性センター又はファベラ  
(貧民街)の中のお施設へ動きに  
行きます。センターには学校外の  
時間に子どもに絵や音楽、劇を  
を教える所やシアター、本部など  
があり。ファベラには教育施設  
医療施設、職業訓練施設など  
があり。現地のスタッフや各国の  
ボランティアが交代で働いています。  
私はセンターや、ファベラの幼稚園  
がメインの仕事場でした。オレンジ  
夜をむいたり血を洗ったり子どもらと  
遊んだり...。時には日本の歌を  
教えました。茶づぼなど。



2/13 東洋人街 Liberdade (リベルダージ)へ  
ここは日本の下町!? と思わせる  
程。日本語、日本料理、日本の物が  
氾濫しています。高野書店、食堂串本  
等々。Monte Azulで働く唯一の日本人に  
案内してもらい、おみやげと、めんつゆを買  
ました。(この方、薫くん(自称大学3年生)  
には滞在中心、めっちゃくちゃお世話になり  
ました。帰国前の忙しい時期にすざ  
お土産をしてごめんなさい。)

2/15 Teatroへ。ドイツ人の友人に誘われ  
Monte Azulで働くダンスの先生の  
招待でインディオの生き方をモチーフにした  
踊り(バレエでしょうか)を見に行きました。  
タイコやバイオリン、ピアノの織り交差する  
時には大団子リズムに合わせ躍動する  
身体は人間の生を感じさせ、心が動きました。  
「生きる」ということは表現活動そのものだ  
と思いました。人間も大自然の一部であり、  
私たちをとりまく大自然に対して人間は  
コントロールも生かせるんだと生き様を  
見せてくれたのが生である...そんな気がした。

唯一ほめられたのは壁の  
ペンキ塗り。才能がある  
のかも?  
シスターの教師に  
お講座が日替りあって、  
私は(木)の夜のコースに  
行きました。やっぱり  
音楽っていいなあと感じました。

2/21~22朝 21~24はリオのカニ  
で有名な復活祭。  
私は21日の夜一晩だけスタジオに  
行きました。パレードの花道の両側に  
びっぴり並んだ人々にまきれ、仮眠を  
とりながら朝まで踊りました。



隣には元気なおばさんたち。ピガ  
(ブラジルの焼酎みたいなもの)やビールを  
まわしたり、サバの踊り方を教えて  
もらいました。ニ(BANZAI)ニ  
一番上の席

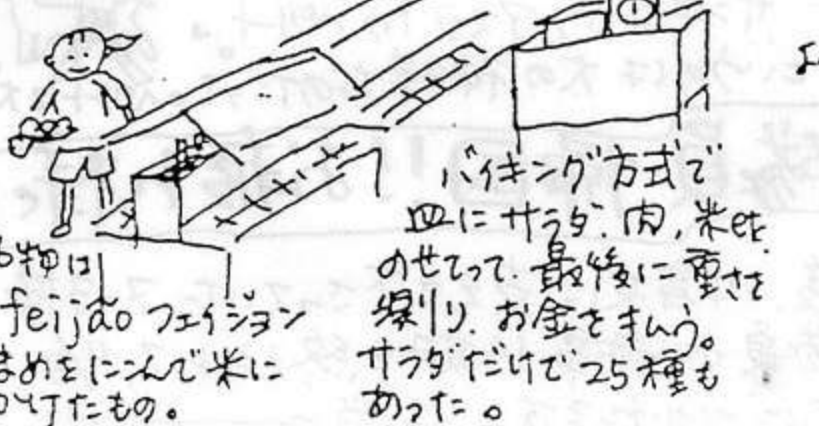
2/27 27回目の誕生日の早朝に見た  
朝日に照らされるSPの街は  
ちびっぴり哀愁の色をおびていました。  
いつかまたきつ戻ってきた...そんな  
気にさせる町でした。

2/28 夕暮に見るボリビアの町角  
には負しさを感じさせられ、  
やっぱり人々はほのぼの隠れやか。  
ホッ。  
では、Chao!

2/8 トリニダド、コチャバンバ、サンタクルス  
と乗りつぎが悪く各地で降参  
にお世話になりました。Gracias v

2/9 23:00 カンパウロ Guarulhos  
空港着。初めに見つけた  
ホテルが何と一泊1100円(約11,000)!!  
ボリビアとのあまりの物価の違いに  
すっかり目がとびました。  
夕暮をこえる私にフロントの人は優しい  
他のホテルをさがし、カンパウロでも泊  
の悪いというハフグリカ広場を通過して  
真夜中私を送ってくれました。系申ですわね。

2/10 AM. 一人街へ出て迷い、帰れなく  
なってしまう。TAXIの運転手は  
途中でターナーを止めて、ホテルをさがし  
てくれました。こども人の親切にじーン。  
カンパウロの名物キロクリランチ初体験。



案内された家は「協会の家」  
という名のボランティアの共同生活  
する家でした。私を含め、日本人  
2人、ドイツ人5人、スペイン人1人と  
ブラジル人3人 犬一匹の生活。



屋根裏の一角  
にドイツ人の女子  
と2人で住  
ました。  
会話には4ヶ国語が入りまじれ  
てましたが、こんな所まで来てても  
いろんな国の人々と会話できる  
というのは、言語ってあつたなあ  
と改めて感じました。



VIVA!!

No. 9

Riberalta

# La escuela

まず、Boliviaの小学校というものから。授業は半日制で子ども達の親は新しい学年が始まる時期(1.2月)に行きたい学校に登録します。満員になれば切、学区制はないわけ。先生たちも然り、校長先生の希望もまぜて各先生が登録します。その時期にたまたま旅行に行ったりすると1年職がない!!ので他の職をさがさねばなりません。(ちなみに先生方は半日先生、半日はタクシーの運転手などと、皆2つの職をもっています。残念ながら先生のお給料はとて低いです)校長先生は教育局が指名します。これは日本と同じですわ。

小学校の5年、中3年、高4年の12年間で Bachiller という単位がもらえ、これがあると大学が受験できるのですが、進学率は高いとは言えません。法律では7才で入学となっていますが家の事情などにより入る年齢もまちまち、留年制なので1つのクラスに6才の女の子と12才の男の子が机を並べている...という光景も少なからずあります。また、せっかく入学しても先生の給料がきちんと支払われない為、毎月ストライキがあったり、家が遠くてこれからは、家の手伝いでこればかり...と時間数にすればきっと日本の1/2もないだろうと思われま。授業は40分×6で、2.3時間目の間と4-5時間目の間に10分の休みがあります。時間になればカーンと鉄の音。カーンカーン

学校にはたいてい各教室と職員室、トイレと購読部があって、休み時間には子どもや先生が食べるおやつやアイスキャンデー、マヒタート(やきめしどき)といったものが売られています。半日なのになぜ...と初めは首をひねったけれど市役所から年間3000Bs(=65円)という資金では教科書を買ったり電気代をまかしたり...ということにとて足りないでおまつりをし参加者からお金を集めたり、いるものを家庭に頼って持ってきてもらったりします。購読部のお金も大切な資金源なのです。Pレバ

変則的ですが、2.3学期の間に2週間、年末年始に2か月の休暇があります。ちなみに今年は気候の変化が激しく、子ども達の病に流行の兆しがあつたので2学期の途中で突然休みに入りました。長期休暇になると、子どもも先生も campo といわれる森(農村)の方へ、働かに行きます...というわけで当然、休みの前後は再出席率が悪くなってしまい、教室に10人たらす...ということも...でも誰も悪くない!?「まあそのうち戻ってくるよ」と気長に待っています。

毎月の朝に朝会で各学年で出しものをする。歌、学習発表会 etc. 先生の制服は白。

この学校には4年生の畑がある。百とてやがてハットボットの重宝かいてます。できたらクラスで料理は食べます。

この学校には4年生の畑がある。百とてやがてハットボットの重宝かいてます。できたらクラスで料理は食べます。

この学校には4年生の畑がある。百とてやがてハットボットの重宝かいてます。できたらクラスで料理は食べます。

# Los niños

12人兄弟なんてことも珍しくはい子たちの数は女子が男子を上回ります。Boliviaの人口と同じです。クラスの中には moreno (褐色) negro (黒) blanco (白) etc. と様々な肌の色に Chinito (東洋人) Gringo (白人) Camba (印地人) Colla (高地人) ... といろんな顔つきがのっかって出来あがった顔・顔が並びます。

遊びになると不思議なことに日本で見た風景が現れます。サッカー、ビー玉、ゴキブリ、パンコ、タイヤ車(と中のだるまが) etc... どこへ行っても子ども達の好むものは変わらないのでしょうか。休み時間にかかしやなべそめい、ゆびすもうなどを考案するとあつという向に人だかりが出来、賞えしてしまいます。

大家族のせいか、大きい子は小さい子の面倒をみ見ていて、頬ずりしたりキスしたり...と見ているほほえましい程のスキンシップをしながら時にはケンカをしたりもします。また、家の井戸みやエンパナダ(あげパン)売り、店番 etc. とお働くことには脱帽。子どもも家族の立派な一員であることを小さいうちから学んでいきます。

町の至る所、少くともない所には、サカゴールがある。(木3本の様) ... 中にはよい。女の子がとびが、カゴをひいてパンを売る子もいる。

panador というセメタ型の皿にエンパナダを入れて売り歩く少年少女。母の手売り。

5人の子供もいる。5人の時はここに子供が来る。

# Las Clases

1994年にあつた教育改革法により現在は年に3冊の教科書が各児童に無料で配布されます。Lenguaje (国語) Matematica (算数) に Ciencia de la vida (理社) の3冊。その他、宗教(カトリック)、健康、それには子ども達の楽しみは日本と同じ、体育音楽、図工です。図工は職業訓練的で家庭科や保健などの内容も含まれます。HR、学級会、クラブ、委員会 etc. といった児童会的なものは皆無。初等教育に南ずる考え方は日本と大分違つて、正に免学に励む所、といった感じ。道徳もなく、宗教がその代わり。子ども達は学校と教会の両方で学んでいるのです。

下じきという概念がたつた!! 日本特有のもの、どうだろうか?

# Dirección Distrital de Educación

私の立場はボランティアですが、TICAという国の機関を通じてるので教育局西配属となります。

現在の教育長 Luis (愛称 Lucho) は音楽の先生をしいたというだけあつたさるフィエスタでは相方と2人でギター伴奏で美しいハーモニーを披露しています。周囲の先生方も元同僚ということもあつて Lucho Lucho と親しみをこめて呼びます。現場の肉題の相談にのつたりあつる会話をこなしたりTVのインタビューに答えたり地の都市に出張したり忙しい人ですが日本からのボランティアが訪ねるとにっこり笑顔で迎えてくれる人のよい彼。

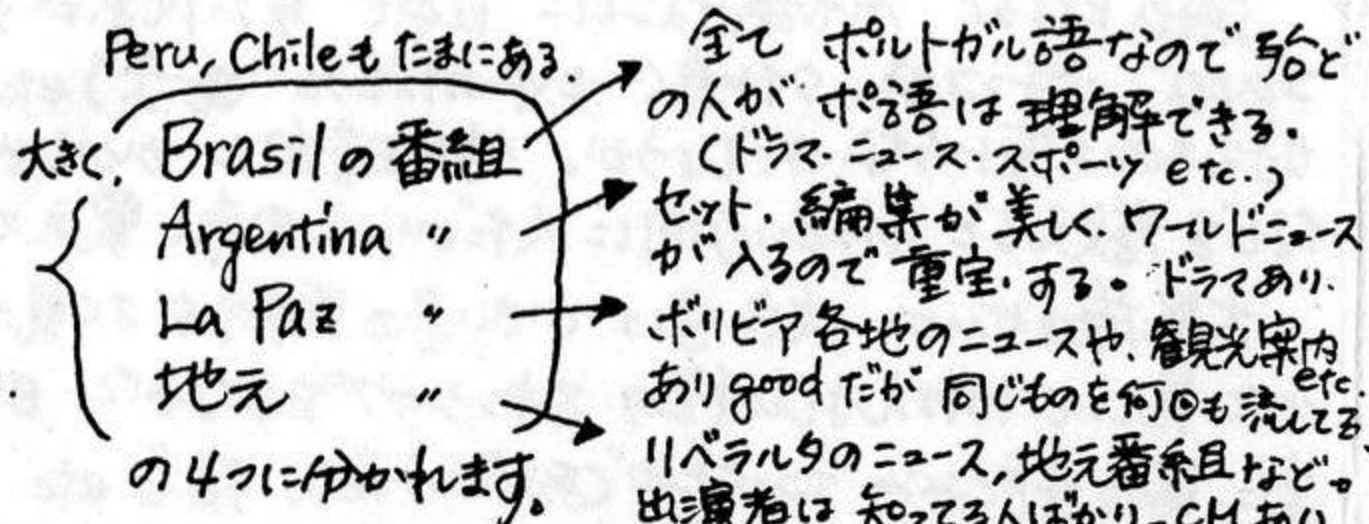
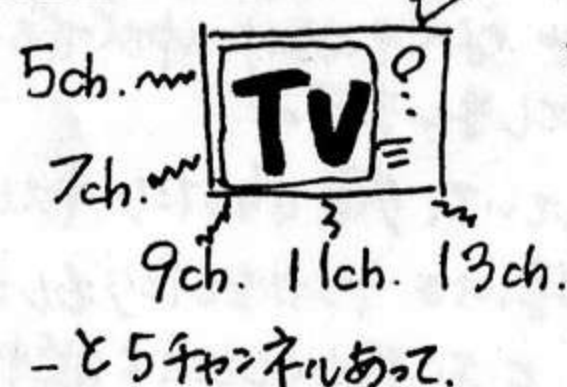
教育局には他に指導員や局内で働く秘書等数人と副教育長のマルティンが働いています。

奥には日本人が働いています。

私はお利  
見おひい

よく「TVがなくてしょう」と言われるのですが 実はけっこう普及しています。  
(もちろんリベラルなといっても広いので これは町の中の話であって、campoの方に  
行けば 電気もガスもない 集落で 井戸水の水を汲み、薪をもちて料理している  
人々もたくさんいます。)

ちなみにはうちのTVは...



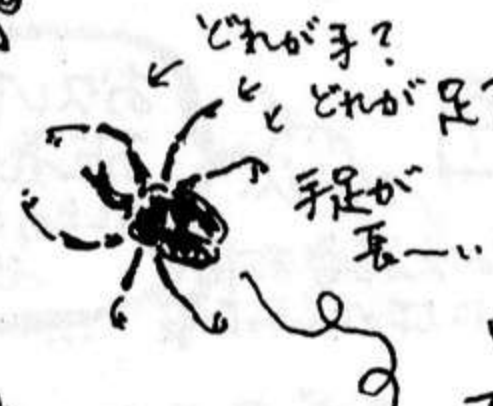
# FRANCIA!! COPA DEL MUNDO '98

南米国の試合がある時は 街は静まり、そんな時間帯に人を訪ねようものなら そっけなく帰されるか まあ座って...と共に歓戦するこじになります。南米チームの点が入ると 街中でバウキウキが鳴るので どこにいてもわかる。という便利のせいで TVのない家の人々は 店頭で集まり、店の主人も仕事をそっちのけ。私も日本チームが出る!! というので 毎日TVに釘づけにたまりました。惜しくも BOLIVIAは 出場なりませんでしたが 初戦の日は 丘所の昔々後やさん一家が シンガ(BOUVIA版機嫌) 40% ぶるまうから おいで。というので あつたまき おじやまで 控り込んで 歓戦しました。結果は残念。でも Argentina 相手に0-1、それは何より 最後まで ボールにくらいついていく 日本チームの奮戦に、試合後人々は感心していました。日本もやるじゃん、と。一番じゃなくてもいいから 他の国の人々に女子力ある国になつてほしい、と思ひました。していかけてくれ、と。決勝はあつたまき、強者BRASILが 南米国に負けて COPAの夢は 終わってしまいました。4年後の2002年 en Japon に スタジアムに 立てることを夢みて...

次期選手は Guayara M. だぞ BRASIL だぞ!!



# TOPIC 火傷する



さるバイク転倒事故で 右足に2ヶ所 やけどを 1=日。周囲の親切な人々は 様々な民間療法をすすめてくれました。Copaiba (マキ科) の油、アオイ、バナナおとし、ゆがいもおとし... はまだいいものの、ハチミツ、牛乳クリーム... というものまで。土地が変われば 療法変わる。です。(ちなみは油は絶対×らしい)



# 大人げないっ

6.6はボリビアの「先生の日」。その日に向けて 5月中旬から 学校対決バレーが 毎夜行われました。私もバレーボールを1=買って、学校で練習したのでありますが あまればの先生たちのプレー態度。出たボールを「いや中だった」と言いほすわ敵に ロケカ 売るわ...。それでもまっすぐボールにフッてゆく姿は 最後には私に「おほいっまでも 少年でいいじゃないか」と思わせたのでした。本当、正直で表裏のない人たちなのです。

Los Tres corazones  
リベラルのフェイスに現るおじさん3人組。楽しく哀しい音楽をかきこく人の心をうちまわす。(3つのハート)

リベラルの電話局に FAXが送れます。001-591-852-3563  
一番上: [Señorita Ichie] Tel. 3230  
と大きく書きましょう。ENTELのおっちゃんか 家に知らせてくれます。FAX きたら Ciao!!

# さうなら WAKA WAKA

いつの由にか 我が家に 迷いこんで来た、どっかいカブト虫。「わーすーい」と喜ぶ声に 周囲の人は 目が点。そしてこのカブト虫は「悪い虫」。見つければ 足でグシッとされかねません。何か「これは何もしないんだよ」と説明し、リンゴを与えかねばいけませんが ある日ついには 家を出てしまいました。やはり広い大地が 恋しかったのかな。WAKA WAKA 又は Lucano というのはカブト虫を指すことばです。さうなら WAKA WAKA

# マリアか!

忘れもけない 5/26の朝 激しい腹痛と共に 高熱 (...と思つたが よく考えれば 38.5℃程度であった) に 寝た。腰痛 吐き気 寒気 軟便... とベッドから 起き上がれない状態に。フと思つたのが 先日行った campoのこと。「左足のスネを見慣れぬ虫文にかまれたではないか!」それから 私の頭の中には マリア という一言がぐるぐる回り、ついに 心細くて泣き出してしまった。しかし 医師の診断は... 少なくとも アーバー。たいてい死ぬかと本気で思つたんやもん...。でも夜には 治った。日本人が アーバーに 月勝てる日はいつ!?? じゃアーバーは 熱を出さないと云つたおひい

# 恋しさが故郷よ

体をこわした時、いやなことがあつた。日本だったらなんて 弱気になつてしまうことが 正直ある。でもそんな時は この人々や 生活に 背中向いてる時だと思ふんだ。どこの世界にも いろんな人がいる。私が困つた時 助けてくれる人が ココにも 沢山いる。でもやっぱり、家族がいて、大事な友だちがいる日本が 恋しい私なので。これが 故郷の心だ。

# VIVA!! - Riberalta No.11

またまたご無沙汰しております。雨季に突入したこ、リベラルタからVIVA!! No.11. 1つの間にやら1年たつた一号をお送りしています。まずは協力隊の本命!? 学校でのできごとをいくつか... (No.12,13もいつか!)

## HUELGA

huelgaというのはストライキのこと。こ、ボリビアでは先生たちのhuelgaは名物といってもいい程度頻繁に行われます。何せ、毎月の給料日である各10日に給料が仕込まれたことがなく、その度ごとに学校はなくなり、子どもたちは道に放り出される... といった具合。中央政府から送られる給料の支払いは才に教育分野が悪く、才2に保健分野...と続くので、お医者さんたちのhuelgaもよくあります。その他にも、他校の先生と給料(登録)がすり変わっていたり、現政権と反対の党派の先生に払われなかったり...と日本では考えられない事件もいくつかあり、10月にはのべ10日程しかクラスがないという状態でした。教育が政治的に左右されてはいけない、huelgaばかりやっても何の解決にもならないと思うのですが、今の所他の手段がこれといってないで歯がゆい思いをしています。これじゃあ、先生たちのやる気もなくなるわね...

## QUERMÉS

お祭りのこと。こ、ボリビアではよく軍や学校などで一日お祭りが催されます。軍なら、セスナやピラニアと口呼ばれるジェットボートにのったり、カイヤン(ワニ)と呼ばれるトラックに乗ったりできます。木の8月まで勤めていた Nuestra Señora del Carmen 校でも、7月に quermés が行われました。バスケのコートに屋根をつける為の資金集め、という目的です。

1Bs. ナゼか手をツンツン No.をひいた!

保護者などから寄ってもらった日用雑貨、学用品、おやつなどの品物

BINGO

10mほどの棒に

のぼり棒

くおもちやお金がつるにある

脂が全面ぬけてある

バネシヨックの中、食事をして、BINGOをする。この景品もきびされた物。

始めて約8時間おふく数の少年がものには(マウク)。

上まじいいたら全部居るもの。

ジュースのびんのわなげ

ルレット何番が出るかある

かいて

かいてかいて

かいてかいて

運もよけ

星 太陽

☆ 月 太陽

月 太陽

のどこかにお金をおき、同じ絵のついたサイコロを振り、あたりにうきにすよ!!

などなど、でした。

# FESTIVAL

去年、私がきた頃も そうでしたが、3学期の末、1年の締めくくりということで 体育と音楽の発表会がありました。9月から勤めている Litoral 小学校の Bella 先生と、Boliviaのフォルワローダンスを子どもたちと練習しました。Litoral校の伝統で、先生のタンバもありません。(夜9:00~11:00 暗い!!) 1,2年は PIAMA, La Labandera とい、輪になつて手をつないで踊るもの。3年は carnavalito とい、低地のリスニカルなもの、4,5年は Morenada とい、高地の有名なもの、メキシコの踊り、taquirari とい、ベニツの踊りなどをやりました。

## 6 de AGOSTO

8/6はボリビアの日。1週間前は6 de Agosto 週間として、いろんな集会が催されます。例えは

- 8/3(月) 午後働かいた。Federico Román 小学校の集会。全校生徒がならび、各学年出しもの後、全員が行進します。
- 8/4(火) 同じ N.S.C.校の集会。各クラス、主席の子が国旗や校旗を持ち、前には自由の肖像が... (独立祝に)
- 8/5(水) 町の中心、プラザで各校の先生、最高学年の子たちの行進。この日の為、制服をあつらえます。夜、ちびちゃんで行進。
- 8/6(木) プラザを町の人々が行進します。アモード工場の人、日系の人々、軍隊、カラオケ協会etc.
- 8/7(金) お休み! ほ~みんな行進好きね!

## 日本の子どもたちへ INCENDIO

ここへ来る前に働いていた百々小学校の元、2年3組の子たちが、ボリビアの子たちへ、たくはくれた 折り紙や手作りの福笑い、竹とんぼなどを Litoral 小学校の4年A,B組の子らに渡しました。地球の東側からの思わぬプレゼントに皆びっくり。大喜びで返事をし、ボリビアの様子を絵に描いて送りました。「日本にはバナナはあるの?」「川はあるの?」「プラザは?」「日本の文字はどうやって書くの?」見たこともない土地、あるいは出かせぎに、行った父親が住む町に、思いをはせながら自分の家や学校、ニワトリや豚、舟などを描き、百々小の子らが読めるようにとファーストネームをカタカナで書きました。明石海峡大橋ができたそうだが、赤道をこえて大平洋にかけ橋。Litoral小の子たちの心が百々小の子たちに届きますように。

4~10月の乾季は火事の季節。空気が乾燥している上に、燃えるものはいくらでもある。というリベラルタ。8,9月には大きな火事がいくつかあり、通称「葉っぱの家」と呼ばれる木の板の壁にヤシの木などの葉っぱの屋根をもつ家が、いくつもやけました。リベラルタに一台ある消防車は何れも故障中...

8月末のある日、町のはすれの森の中にある木材工場から出火。幸か不幸か夜中だったので人はおらず、ヤシの木はなかったのですが、火の勢いはとどまることを知らず、またたく間に町中が煙で覆われました。その結果、「体に悪い」という理由で学校がまたまたお休みに。思うに、窓がガラスの入った家なんて殆どない所だから、家に居ると学校に居ると同じでは...? その後、火は3日3晩燃えつづけていた。

— ここ最近のできごとを ダイジェストで紹介いたします。 —

# 川の水位が下がると...タイヘン

乾季がようやく終わりましたが 数メートルも下がった川の水位は とうとうカンタンに上がりません。そこで困るのが、ガス、ガソリン不足。浅い川では舟が自由に行き来できない為、この数ヶ月 不足状態が続いています。水路がためなら陸路で...と La Paz に 買いつけに行ってみてもナシ!! おかげで 干物、まきで料理をしています。どうやら 当国のガス、ガソリンは Brasil, Argentina, Chile などに流れている、というのが 現状のよう。結果、人々の手に入るのは悪貨で、値の安い Brasil のガス、ガソリン。(軽油が混ざってる) 何かおかしな感じがしない? バイクが壊れると いうワケサ。

# リベラ内の 日本人事情

同期の伊集隊員と 2人所帯になった今、さぞかし 忙しいのでは...とお思いかも知れませんが 実は 強力助っ人(?)が!

## リベラ内の 日本人のわ

- わたし (お笑い専攻) ... (99.7. 帰国院)
- ダイエゴさん (海外青年協力隊)
- リエさん (3ヶ月前に来!!)
- アリソンちゃん (2)
- 南西人 (お笑い)
- たつみちゃん (5)
- シンティちゃん (1)

・リベラ内 一大きいガソリンスタンド「NATSUHI」のオーナー夫妻。大阪で知り合われたというお友。ダイエゴさんは 大阪弁ペラペラの ボリゼラー。リエさんは 今年6月に なられたばかりですが、既に 私たち 2人の 大事な お姉さん 役 ですよ!

この10月に 入籍されたばかりの新婚さんです。いつもニコニコ 笑顔の たいへん お二人を見ていると、これから 幸せになります。ビザなどの 手続きに 進んでいるようです。以上。

# とうとう出現!!

## クランクエラ

伊集さんちにお邪魔していた時のこと。床をゴロゴロと動き回る物体が! よく見ると、体長10cmほどの 毛むくひのワケモノ クランクエラ!! ギャ〜と 悲鳴をあげ、逃げ回った挙句、缶を上から叩きつけて 逃げようとする。... 逃げたのはいいものの、さてこれから どうしよう? ということになり、缶詰、殺虫剤、バクソンを 充満させて一晩 放置おき、翌日 アルコール 漬けに したのでした。残念ながら 日本には 待つて 帰れないとのこと。ザンネ。



# 散髪事情

ストライキが続いて、たいくつしていたある日、リベラ隊 2人は ついに 茶髪 になってしまいました。その夜、音楽のクラスに行く時、クラスメイトが、私の前に座るなり、「バボネサ(日本人)は きておいてか? (マジ)。それからしばらく 私のあだ名は Choca (チカ、茶髪) になっていた。その後、自分で髪を切ったが 「ひみこ」の ふうになってしまい、隊員会ぎの時に、同期の 器用なしほちゃんに 直してもらって、何とか 短い シャギーに。...しかし、ある日 フト 鏡をみると、そこには ぴまやっひろしか! ... (1行)

# 恐るべし 狂犬病

Litoral の学校で 働き始めた 才目日、打ち合わせで入った 職員室で 生後向かいの かわい子犬に、手首をかまれ、狂犬病の ワクチンを 打つはめに... Cochabamba で 最近 3人程 死者が出ていた 失火のこと。調整員さんに、「どせ わかちのうたて 手を出してんでは!」 その通りで 我々から 反省しています。以上。

# No sabe descanzar!!

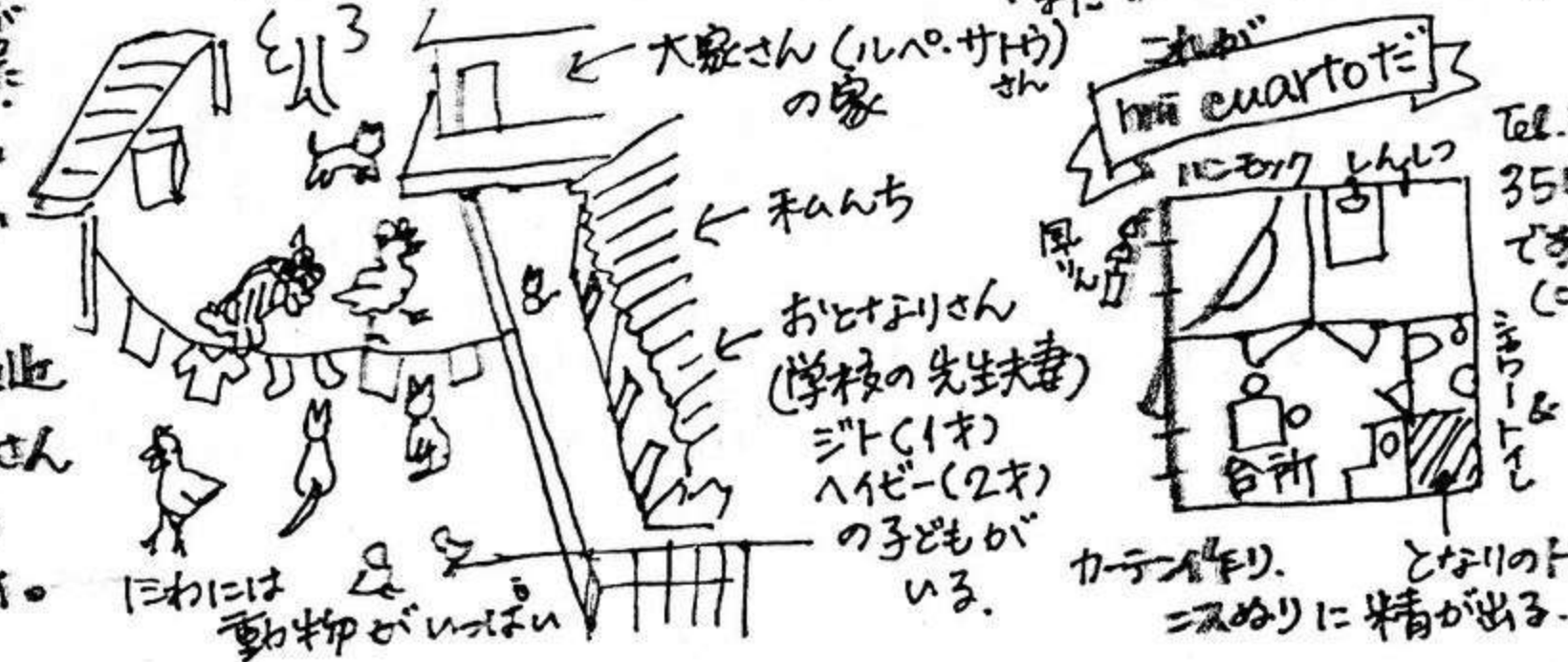
朝と午後の学校は もちろんですが、一日中 川へ遊びに行ったり、湖に 遠出したり、日段さえあれば 友だちの家に 行ったり、ダンスの練習に行ったり...と、じっとしていることのできない性格。それが 災いしてか 道端で 気が遠くなり、警察署で ねかせてもらうハメに。大したことは なかったのですが、ペロアマに 「No sabe descanzar!!」 (ちっとも じっとしてない!) と あきれられ、フと思いついたのが 日本のお母のセリフ。同じことを 長年 言われ続けていたのでした。性格というのには、ボリベラに行っても 変わらないんで あね、ハハ

# 初めてのセリフ

こちらの (多分メキシコ) の習慣で、思ひ人のハハの外や 明日、たん生誕を迎える人の 窓の下で 夜ギターをひきながら 歌を歌って 知らせる、という その名も セリフ があります。私に あちやろう! と リエさんの たん生誕の前夜、11:00 ごろから 半時自程 音楽の先生たちをつれて、集隊もどきをしたので、反応がない! 後日 尋ねたら、すっかり 熟睡して 何も 知らない、とのこと。知らせるべきでした...。ガッカリ...

# ひびき暮らし 始まる!

どうしようかと 迷っていたのですが、同じメロニストリート沿いに 一人暮らし用 賃貸住宅などという やれたものを 建てていた人がいたので、(アパートなどのないリベラ内で 一人暮らし用 住居を見つけるのは 大変)、思い切って、決めました。娘の 子に してくれたい 家を出るのは 辛かったけど、一度は 経験! と思っ、11/2 無事引こし完了。家具も ガスも すべて 入ってます。



Tel.No. 3542 であ (0平)

カーテン作り、となりのトビ 二羽りに 精が出る。

8/15~30の冬休み(曆上は冬ですがリベラルタには冬はない)を利用して、ボリビア国内のいろんな町を旅してきました。5都市をまわるジョイド航空の周遊券と、のんびりゴトゴトバスの旅です。 --> バス -> ひこうき ( )は標高

交通	ひこうき	970 (周遊券)	+ 買い物 の分ね。
	バス	429 (ヒコガリバ)	
		240	しめて
		1,639 Bs.	約3万7千円
ホテル代	約	100 Bs.	



### 1. Riberalta <sup>リベラルタ</sup> 出発!!

朝11:00発!のはずのバスが出たのは何と夕方6:00。何でもラパスから着いた荷物の中から15kgの麻薬が見つかったとか... ゾ~~~~!!  
お盆で集まった親せき一同からのFAXを受けとり、元気にGO!

### 10. Riberalta <sup>リベラルタ</sup> ゴール!!

空港で荷物もちをして働いている元教え子のフアン君のキスのお出迎えと、アエスール航空の千ヨビウゲのおちゃんのお腹の笑い顔。  
ああこれが我が家2の故郷リベラルタ! 町に2台できたてのモトカビにのり、パレード気分を帰りました。

### 2. Rurrenabaque <sup>ルレナバケ</sup>

知る人ぞ知るルレナバケのアマゾン。有名なトリニダツアーズとは違って、1日25\$とリーズナブル。まだ人の手のつけられていない自然を楽めます。トラックの荷台にゆられるH. モーター付カヌーでワニやカメ、ピンクのイカや色とりどりの鳥たちをながめながら3H. 川のほとりで蚊やひびく虫の声をききながらねむります。時間があればセラフ釣リやアコンカ探しにも行けるそう。1人の私をスペイン人5人のグループに入れられ、彼らとLa Pazまで共に旅しました。19センチになった私を元気にした彼らは陽気モロ。彼らはLa Pazの孤児院で働いているとのことでした。

### 9. Trinidad <sup>トリニダ</sup>

ポトシで別れた伊井隊員に空港でバツリと一緒に同期が、同じ年のみなちゃんちに行きました。中華をたべに行つてのんびり、ハードな長旅の疲れをいやすました。ほっこり。

### 3. La Paz <sup>ラパス</sup>

かたて知ったるLa Pazですが、バスで来たのは初めて。Rurreから延々と続くゆるい上り坂を21Hの旅。知らないにーちゃんに席をとられ、あてがわれたのは、丸太の千ヨリタさんの隣。なぜか、彼等の息子(アオ)をひざにのせられての長旅。と中、前を走っていたバスの右前輪がはずれ、谷底におちるというアクシデントにもあいました。La Pazでは航空券を手に入れ、連絡所で日本のVIDEOを見てのんびり。

### 8. Santa Cruz <sup>サンタクルス</sup>

年2回の隊員会ギなど、ここもよく知っている町。サンファン、オキナワといった日系人の移住地が郊外にあるため、日本の食料品などがそろえられます。今回もその名も井出商店で、大福、白菜、もち米、ごま油などを購入。そして、同期の千里ちゃんちや、田中専向家のうかつくお鍋やきんつば、ほたて炒め、...といった日本食をごちそうになり、いつものごとく太って帰りました。千里ちゃんの勤める、音楽学校にも見学に行きました。

### 4. Sucre <sup>スクレ</sup>

初めて訪れた首都スクレ。法律で決められているので町の建物は全てまっ白。独立宣言が行われたLa casa de la Libertad (自由の家)にはスクレ将軍や、ボリビアの国名のもとになった、南米大陸の解放者、シモン・ボリバーの肖像がかざられています。これも同じボリビア!?と思わずうなってしまう、整然とした静かな町なのです。ちやっ、寂しいかな...

### 7. Tarija <sup>タリハ</sup>

着くなりおしゃべり好きのTarijeña (タリハ人)の口車にのせられて、Mercado (市場)の屋台で魚のフライをたべて腹痛に見舞われる。Tarijaはのんびり過ごすための所だ、の常識にたよって、寺本隊員のうかつでゴロゴロしました。川のほとりで2cmほどの小ザリガニのあげものをたべ、名物、化石博物館や昔の貴族(スペイン人)の家などを見学しました。先輩隊員より100Bs. (2200円)でTarija製ウユニバイオリンを購入しました。

### 6. Uyuni <sup>ウユニ</sup>

ポトシで待ち合わせしたリベラルタの友、伊井隊員と、ウユニ塩湖へ。夜中1:00についたウユニの町はとっても寒く、耳がおかしくてねづけた。翌朝居合わせたデンマーク人と3人、ツアーを申し込んでいざ塩の湖へ。27,000年前には釣リ人がいたという湖も、40,000年前から干地始め、今では9410mの層をもつ、およそ9000km<sup>2</sup>の一面の塩の地面になっている。そのまん中にあるIsla de Pescado (魚の島)にはサボテンの群生とイヤマ2頭、という異様な光景が見られます。



### 5. Potosí <sup>ポトシ</sup>

世界一高い所にある都市、ポトシは金銀で栄えた町。スクレとはうってかわって、土レンガと、石レンガの色が目に入る。金夫たちの仕事は、コカの葉をかみ、暗やみと酸素不足の中、夕方に石をくだいては、金脈をさぐるというハードなものでした。男たちは運をねらって、今日も穴を掘る! 行った日はたまたまSan Bartoloméというカトリックのお祭りの前日。町中リハーバル、TinkuyやTarqueada, Motenadaといった高地の踊りのグループが100近く、町をわたり歩いていました。ポトシの人々はとも気がよくフレンドリーで、いっぺんにこの町が好きになりました。

### 7. Tarija <sup>タリハ</sup>

再び一人旅... タリハ、手ごわい博物館で、マンモスの骨を記念さつえい

### 6. Uyuni <sup>ウユニ</sup>

ポトシで待ち合わせしたリベラルタの友、伊井隊員と、ウユニ塩湖へ。夜中1:00についたウユニの町はとっても寒く、耳がおかしくてねづけた。翌朝居合わせたデンマーク人と3人、ツアーを申し込んでいざ塩の湖へ。27,000年前には釣リ人がいたという湖も、40,000年前から干地始め、今では9410mの層をもつ、およそ9000km<sup>2</sup>の一面の塩の地面になっている。そのまん中にあるIsla de Pescado (魚の島)にはサボテンの群生とイヤマ2頭、という異様な光景が見られます。



年に2回, 5月と11月に行われる JICA の健康診断に合わせて, 隊員の自主的活動で, 隊員会ギが行われる恒例になっています。普段, 現地の人と汗水を共に働いている中, 悩みやストレスも当然出てきます。そんな隊員同士が集まるこの会ギ期間は, 久しぶりに同期隊員と会ったり, 同じ悩みをかかえる人や似た職種の人とじっくり話ができるよい機会でもあります。

また, 今回の会ギは, サントクルスの日系移住地や, ラパスの日本人会館で働いておられる日系社会青年ボランティアの方たちと合同開催となり, また違った話もいろいろ聞くことができました。

今回は, 毎年大使館主催で開催される日本人祭(毎年1月に3日間程ある)に例のごとく隊員・青年が店を出し一日協力したのでその様子もお伝えします!

### 11/4,5 **健康診断 en ラパス** **がastro 総合病院**



### 11/5夜 **有志による2回音楽会 en 連絡所**



## 11/6 **平成10年度中2回 隊員青年会ギ**

本来は 所長と直接 質疑応答をしたり, JICA の方針を言語してもらったり, 隊員間 ディスカッションが 盛り上がりたり, ということが おもしろいのですが, 今回に限っては, 日本から JICA 副総裁が 訪泊されていたり, 交通安全セミナーが重なっていたりしたことで, 所長不在, 日程短縮 (お昼に大使館の方も病欠) で, 行われました。それでも 充実した一日でした。



## 11/8 **有志による 日本人祭参加**



### 11/8 **有志による2回音楽会 en 連絡所**

